

第4回TRIZシンポジウム閉会にあたって

(TRIZ Symposium 2008 in Japan)

—TRIZシンポジウム参加のお礼と
日本TRIZ協会活動への参加へのお願い—

2008年9月12日

NPO法人日本TRIZ協会

シンポジウム実行委員長

三原 祐治

第4回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

皆さん、第4回TRIZシンポジウムでの3日間お疲れ様でした。おかげさまでシンポジウムも日程を終えましたが 充実した内容の3日間だったのではないかと思います。

運営面では、いくつか不備な点があって不愉快なこともあったことをおわび申し上げます。

全体として、今回の企画は成功したといっても良いのではないかと主催の一翼を担ったものとして、自讃しておりますが、これも皆様のご協力があったのものであります。

厚くお礼を申し上げます。

今回のシンポジウムが前回と違うこと(1)

- 1) NPO法人日本TRIZ協会という公式の組織による開催。
←これまでは日本TRIZ協議会という有志のボランティア。
- 2) 関西地区に場所を移して開催。
併せて「TRIZの新しい展開を目指して」というテーマを設定
- 3) 日英/英日スライド同時投影のための翻訳および質疑応答での通訳を会員からボランティアを募り実現。
→会員のシンポジウムへの積極的な参画。
- 4) 発表者の範囲の拡大。
従来の大企業での適用例だけでなく中小企業での適用例が昨年あたりから見られてきている。
また産業界中心の適用から個人や学校教育における自由研究等へのTRIZ適用例が発表されるなど裾野の拡大が進んでいる。

今回のシンポジウムが前回と違うこと(2)

5) 発表件数の拡大

発表件数は46件(招待講演3件含む)と前回の34件(招待講演3件含む)を大きく上回りました。

6) 海外からの発表も8カ国(米、マレーシア、韓国、台湾、英、イスラエル、オーストリア、中国)15件(招待講演含む)と、国際性も認識されてきました。

7) 基調講演&特別講演を除き、講演を全て**パラレルセッション**として実施し、また**ポスター発表も3回**に分けて実施し多くの発表ができました。

8) 前回の参加者の要望及び経験を反映し、今回は**2つのプレセッション**(入門者用チュートリアルと経験者によるDiscussion)を用意しました。

9) 発表に対する**投票制度**を設けたこと BEST発表に対し参加者の皆さんに投票して頂き後日HP上で公表します。

これまでの4回のシンポジウムから

- ・第1回参加者数 104名（日本100名＋海外4名）
- ・第2回参加者数 157名（日本139名＋海外18名）
- ・第3回参加者数 202名（日本191名＋海外11名）
- ・第4回参加者数 180名（日本165名＋海外15名）

毎回、100名を超える方々が一堂に会し、熱心な議論がおこなわれました。

→「発表内容」も、それに対する「議論」も、それらを支える「参加者の数」もTRIZが日本に着実に定着しつつあるという実感。

TRIZシンポジウム発表者・参加者の推移

			2005(1)	2006(2)	2007(3)	2008(今回)
論文発表者	国内	大学/研究機関	1	6	3	4
		一般企業	9	10	10	10
		個人/研究会ほか	2	2	6	10
		サービス提供者	5	5	5	8
	海外	3	11	10	14	
	計	20	34	34	46	
チュートリアル他				2	2	
参加者 (講演者含む、 事前申込み ベース)	企業ユーザ	71	94	142	107	
	教育・コンサル	9	43	42	43	
	ツールベンダー	15	2	1	7	
	その他(知財、IT、個人ほか)	9	8	10	23	
	計	104	147	195	180	
シンポジウム終了時点の参加者				157	204	

主催者：NPO法人日本TRIZ協会について

昨年迄：少数のボランティアベースの任意法人活動

2004年5月：TRIZ懇話会発足

2005年1月：日本TRIZ協議会へ衣替え

(3回のTRIZシンポジウムを毎年開催)

本年以降：会員ベースの公共的なNPO法人活動

(ボランティア活動であることは変わらず)

— 東京都庁より認証を受け、

2007年12月27日に正式発足—

- 日本におけるTRIZの普及活動のセンターとして機能する。
- 我が国の技術開発力・国際競争力の強化に資するため、活動をよりオープンで全国的なものにする。
- TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する。

TRIZ協会の活動内容

1. TRIZシンポジウムの企画開催

- 国内中心で海外からの参加もよびかける。1回／年開催。
「日本TRIZ協会」会員の参加費優待を行う。

2. 研究会活動

- TRIZの適用方法、事例研究など、TRIZを様々な分野/場面で活用するための研究とガイダンスの構築を目指し、TRIZの普及・発展に供する。
「日本TRIZ協会」会員は参加できる。

3. セミナーの企画開催

- 関係協力機関との共催または後援／協賛によるセミナー開催を行う。
この場合「日本TRIZ協会」会員優待を行うようにする。

4. 教育／出版用コンテンツの開発

- 教育・普及のためのコンテンツを開発し、書籍出版、eラーニング、講習会などで活用する。
- 既存文献(特に、英語の)、上記研究会の成果、関係協力機関のコンテンツ、などの活用を図る。

TRIZ協会に入会を

TRIZ協会は立ち上がったばかりです。

皆様のご意見とご協力により、力を合わせて育てていきたいと思
います。

TRIZに関心のある皆様に参加していただき、日本におけるTRIZの
定着・発展に是非関与してください。

研究会

研究会活動としては

現在 「知財創造研究分科会」

「ビジネス・経営TRIZ研究分科会」

の2つの研究会が活動中です(ポスターセッションで報告)。

→ これらの研究会に是非ご参加下さい。

また、新しい研究会の立ち上げのご意見・ご提案をお寄せ下さい。

第4回シンポジウム準備・実行メンバー

林 利弘	(林 技術士事務所)、	水野 栄一	(エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ)
三原 祐治	(創造性工学研究所)、	岡 建樹	(コニカミノルタビジネステクノロジーズ)
黒澤 慎輔	(産業能率大学)、	長谷川 公彦	(佐野国際特許事務所)
小西 慶久	(元 三菱総研)、	片岡 敏光	(パットブレン)、
中川 徹	(大阪学院大学)、	正木 敏明	(日東電工)、
堀田 政利	(創造開発イニシアチブ)、	大田 哲也	(産業能率大学)
池田 和康	(積水エンジニアリング)、	奥住(横山)	(東芝)
仲畑 光蔵	(日立製作所)、	福嶋 洋次郎	(松下電器産業)
前古 護	(アイデア)、	海野 誠	(川崎重工)、
市川 諒子	(日本TRIZ協会)、	後藤 一雄	(リコー)

皆さんご苦労様でした

第4回シンポジウム通訳・スライド翻訳協力者

通訳： 小西慶久 (TRIZ協会)、 黒澤慎輔 (産能大)、
石濱正男 (神奈川工大)、 鹿倉潔 (IM ジャパン)、
望月 朗 (日産自動車)、

和訳： 小西慶久 (TRIZ協会)、 黒澤慎輔 (産能大)、
水野栄一 (エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ)、
海野誠 (川崎重工)、 仲畑光造 (日立製作所)、
堀田 政利 (創造開発イニシアチブ)、 正木敏明 (日東電工)、
中川徹 (大阪学院大学)、 池田和康 (積水エンジニアリング)、
横山和正 (東芝)、 森久光雄 (創造開発イニシアチブ)、

英訳： 中川徹 (大阪学院大学)、 小西慶久 (TRIZ協会)、
重田淳二 (日立中研)、 庄内亨 (日立中研)、
鈴木博之 (日立中研)、 津波古和司 (日立GST)

皆さんご苦労様でした

【敬称略、順不同】

TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして

第5回(2009年)日本TRIZシンポジウム は

日程: 2009年9月10日(木)~12日(土)

場所: 国立女性教育会館

(埼玉県・東武東上線森林公園近く)

にて開催します。

この場所はNPO法人化したことにより紹介されました。

今から、日程調整をお考えください。

TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして

次回のシンポジウムには是非発表を
お願いします

→ 今から発表に向けて準備をお願いします。

と同時に、

今年同様活発な意見交換をお願いします

第4回TRIZシンポジウムへの
ご参加
ありがとうございました

来年のシンポジウムのためにも、アンケートの記入
にご協力をお願いします。